

記者クラブ御中

公益財団法人 長瀬科学技術振興財団 2021年度の助成決定について

大阪市西区新町一丁目1番17号
公益財団法人長瀬科学技術振興財団
理事長 長瀬 玲二

当長瀬科学技術振興財団の2021年度の助成25件を、選考委員会及び理事会において下記のとおり審査、決定いたしましたのでご通知いたします。

長瀬科学技術振興財団は、生化学及び有機化学等の分野における、科学技術の発展を願って1989年4月に設立許可されたもので、今回が33回目の助成であります。

なお、助成件数につきましては、2019年度までは20件でしたが、2020年度は22件、今年度は更に3件増やして25件とし、助成を拡大しております。

また、新型コロナウイルス感染症が研究活動に影響を与えている状況に鑑み、その対応を支援する目的で昨年度より1件あたりの助成金額を50万円増加し、300万円としております。

記

1. 研究助成金及び長瀬研究振興賞贈呈式

日 時	2021年4月23日(金) 午後5時30分より
場 所	大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター 大ホール

2. 助成金受賞者一覧表 添付別紙(No.1)をご参照ください

3. 助成金額 75,000,000円(研究助成25件合計)

※うち、12,500,000円は新型コロナウイルス対応のため追加したものです。

4. 当財団の概要 添付別紙(No.2)をご参照ください

以上

お問い合わせ : 大阪市西区新町一丁目1番17号
公益財団法人 長瀬科学技術振興財団
TEL 06-6535-2117

2021 年度助成金及び長瀬研究振興賞受賞者

(敬称略 五十音順)

	氏名	所属	役職	テーマ
生化学	有村 源一郎	東京理科大学 先進工学部 生命システム工学科	教授	植物の嗅覚システムと免疫活性化機能の解明
	池田 丈	広島大学大学院 統合生命科学研究科 統合生命科学専攻	准教授	胞子表面にシリカを蓄積する細菌の利用による、シリカ層で保護された固定化酵素の作製
	上村 想太郎	東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻	教授	非標識ナノポア技術による1分子タンパク質網羅定量解析
	遠藤 裕介	かずさDNA研究所 先端研究開発部 オミックス医科学研究室	室長	細胞内脂質の低下を感知して抗ウイルス応答を発揮するリンパ球の巧みな代謝制御機構の解明
	押木 守	北海道大学大学院 工学研究院 環境工学部門	准教授	嫌気性アンモニウム酸化細菌が保有する新規な亜硝酸還元酵素の機能および構造解析
	加藤 直樹	摂南大学 農学部 応用生物科学科	准教授	立体選択的 Diels-Alder 反応を触媒する酵素の機能改変による非天然型機能性分子の創製
	古園 さおり	東京大学アグロバイオテクノロジー研究センター	准教授	動的な代謝酵素集合体の形成と制御メカニズムに関する研究
	柘植 陽太	金沢大学 新学術創成研究機構	准教授	人工代謝経路導入によるバイオナイロン原料生産菌の創製
	戸谷 希一郎	成蹊大学 理工学部 物質生命理工学科	教授	独自に発見した不良品糖タンパク質選別機構とフォールディング病の相関解明
	中山 二郎	九州大学大学院 農学研究院 生命機能科学部門	教授	合成腸内細菌叢を用いたプレ・プロバイオティクスのインビトロ機能解析システムの構築
	南後 恵理子	東北大学 多元物質科学研究所	教授	酵素反応実時間構造解析の開発
	日原 由香子	埼玉大学大学院 理工学研究科	教授	シアノバクテリアにおける新奇脂質合成酵素の機能解析
	二神 泰基	鹿児島大学 農学部 附属焼酎・発酵学教育研究センター 醸造微生物学部門	准教授	糸状菌における機能未知の推定有機酸輸送体の解析
	山崎 朋人	高知大学 教育研究部 自然科学系理工学部門	助教	単細胞生物から解き明かす microRNA の始原的役割
有機化学	雨夜 徹	名古屋市立大学 理学研究科	教授	「ひねり」と「結び目」トポロジーを併せ持つ π 共役系ナノ構造体の合成
	石川 勇人	千葉大学大学院薬学研究院 創成薬学研究部門 創薬科学講座	教授	ヘテロオリゴマー構造を持つ中分子天然物の化学的研究
	稲垣 昭子	東京都立大学大学院 理学研究科	准教授	二核ヒドリド錯体による光エネルギーを用いた触媒的水素生成反応
	依馬 正	岡山大学大学院 自然科学研究科 応用化学専攻	教授	金属錯体触媒を用いる二酸化炭素固定化反応
	生越 友樹	京都大学大学院 工学研究科 合成・生物化学専攻	教授	柱型環状分子ピラー[n]アレーン結晶の分子認識を利用した開環重合とプラスチックリサイクル
	倉橋 拓也	長崎県立大学 看護栄養学部 栄養健康学科	教授	加圧オゾンを活用する新規有機反応開拓
	齋藤 敬	京都大学大学院 総合生存学館	教授	[2+2]光付加環化反応を用いた環境配慮型可逆ポリマーの合成
	高島 義徳	大阪大学高等共創研究院・大学院理学研究科高分子科学専攻	教授	高分子架橋形式と刺激応答性アクチュエータの応答機能の相関解明による学理構築
	中田 雅久	早稲田大学 理工学術院 化学・生命化学科	教授	全合成を基盤とする抗がん剤中分子の創製研究
	島山 琢次	関西学院大学 理学部化学科	教授	ナノカーボンを志向した含ヘテロバッキーボウルの合成
	山野井 慶徳	東京大学 大学院理学系研究科 化学専攻	准教授	結晶状態の発光挙動が温度で変化する環状芳香族ジシラン分子の開発

財 団 概 要

1. 名 称

公益財団法人 長瀬科学技術振興財団
(英文名 : Nagase Science and Technology Foundation)

2. 所在地

大阪市西区新町一丁目1番17号

3. 理事長

長瀬 玲二

4. 設立許可

1989年4月26日
(公益移行登記 2011年4月1日)

5. 基本財産

現 金	10億5千万円
投資有価証券	17億2千9百万円 (2021年3月末現在)

6. 目 的

この法人は、有機化学及び生化学等の分野に係る研究開発に対する助成等に関する事業を行い、科学技術の振興を図り、もって社会経済の発展に寄与することを目的とする。

7. 事業の概要

- (1) 有機化学及び生化学等の分野における研究に対する助成
研究助成金 (250 万円/件、25 件程度) 及び長瀬研究振興賞の授与
- (2) 有機化学及び生化学等の分野における研究成果の普及
研究報告集の発行 1 回/年
- (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

※ ホームページアドレス <https://www.nagase-f.or.jp/>